

労使トラブル 防止策を学ぶ

県内の経営者ら

社会保険労務士による「労使トラブル防止セミナー」が十七日夜、金沢市橋場町の金城楼で、県内の会社経営者ら二十人が参加して開かれた。

景気の冷え込みによ



り労使トラブルは増加しており、今年三月までの一年間で、労働基準監督署などへの相談件数は県内で七千件を超えたという。

社会保険労務士山田事務所(同市天神町)の三井敏彦所長が講師を務め、実際にあった退職金や解雇に関するトラブルなどを紹介。

参加者たちは真剣にメモを取りながらトラブル防止策を学んだ。

参加者三井所長の話に真剣に聞く
参加者＝金沢市橋場町の金城楼で

三井所長は「言った言わないの争いは会社にとって是不利。何事も書面で記録に残すことが大切」とアドバイスした。

(山野舞子)